



2024年2月29日

各位

会社名 ジェイドグループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田中 裕輔  
(コード番号：3558 東証グロース)  
問合せ先 管理本部ディレクター 高志成 俊  
(TEL. 03-5465-8022)

**マガシーク株式会社の株式取得（子会社化）ならびに  
株式会社NTT ドコモとの業務提携契約の締結、伊藤忠商事株式会社との業務提携の継続に関するお知らせ**

当社は、2024年2月29日付の取締役会決議において、マガシーク株式会社（以下「マガシーク社」という）の株式を取得し（以下「本株式取得」といいます）、子会社化することを決定いたしましたのでお知らせいたします。また、同日付で株式会社NTTドコモ（以下「ドコモ社」といいます）、マガシーク社と当社間で「d fashion 事業に関する三者間覚書」（以下「本契約」といいます）を締結することも決定いたしましたので合わせてお知らせいたします。

**1. 株式の取得及び業務提携の理由**

今般、ファッションECを展開するマガシーク社（ドコモ社が75%出資、伊藤忠商事株式会社（以下「伊藤忠商事」といいます）が25%出資）の全発行済株式のうちドコモ社が保有する75%、伊藤忠商事が保有する3%の合計78%の株式を取得することを決定しました。残る22%は伊藤忠商事が継続保有するため、これによってReebok Japanを運営する当社連結子会社であるRBKJ株式会社（66%がジェイドグループ、34%が伊藤忠商事）同様、マガシーク社はジェイドグループと伊藤忠商事との共同運営会社（78%がジェイドグループ、22%が伊藤忠商事）となります。

また、現在マガシーク社がドコモ社との業務提携契約に基づき行っております、ドコモユーザー向けのファッションECサイト「d fashion」の運営支援は、本契約を通じて3社間での業務提携として今後も継続され、当社及びマガシーク社が「d fashion」のサイト開発及び運営、物流機能の提供、マーケティング等を提供することとなります。同様に、現在、マガシーク社は主に伊藤忠商事が関与しているブランド群に対してECソリューション（B2B）事業を運営支援していますが（弊社BOEMにあたるサービスで、ブランド各社様の自社ECの構築運営サポートを行う事業）、本事業を通じて伊藤忠商事との業務提携関係も継続されます。今回締結する本契約によるドコモ社との業務提携、及び、マガシーク社における伊藤忠商事との既存業務提携を通じて、ジェイドグループの、ドコモ社、伊藤忠商事との新たな業務提携関係が開始することとなります（以下「本業務提携」といいます）。

当社は「自宅で試着、気軽に返品」できる、靴とファッションのECサイト「LOCONDO.jp」を軸とするEC事業、EC事業で構築したIT・物流インフラ等を共有活用したB2Bプラットフォーム事業、EC事業およびプラットフォーム事業のサービスを活用して自社ブランド運営を行うブランド事業の3つの事業を展開しております。また3番目のブランド事業としては2022年10月から展開しているReebok国内事業がその主軸となっております。

弊社は2018年からファッションEC市場における『圧倒的な2位』を目指すと中期ビジョンとしてお伝えしてまいりましたが、本株式取得によってグループ取扱高は300億円（2024年2月期計画値、親子相殺前）から600億円（概算値。ジェイドグループ300億円（同上）、マガシーク300億円（2024年3月期見込値））と2倍の規模へと拡大する事で、この中期ビジョンを実現する事ができます。また2030年度までの長期ビジョン「取扱高1000億円」の水準に一気に近づくことが可能となりました。

加えて今回の株式取得によって以下のシナジー効果を期待できます。

- ① LOCONDO.jpとマガシーク社が運営するECサイトMAGASEEK / d fashionの物流・ITインフラを共通化する事によってECにおいて最重要な「品揃え」の拡充が実現できる
- ② それぞれのお客様を取り込むことによってグループ全体のユーザー層基盤の拡大が実現できる

- ③ EC ソリューション（B2B）事業を提供しているブランド様に対し、ジェイドグループの IT・物流内製化プラットフォームを提供する事によって高品質・低コストのサービスを提供する事が可能になる
- ④ グループ全体でヒト・モノ・カネの戦略的なポートフォリオ運営をする事によってグループ全体の成長戦略の広がりを加速できる

さらに本業務提携によって、日本の通信業界を牽引する携帯電話会社が「集客」を支援し、日本のファッション業界を牽引する総合商社が「品揃え」を支援するという、EC にとっての 2 大重要要素を、各業界のリーディングカンパニーが支える完璧なバックアップ体制が構築されることとなります。「ファッション EC 業界の取扱高 1 位を目指すためのパートナーシップの構築」という、将来に向けた大きな価値を得られたとも言え、非常に大きな意義があると考えております。

## 2. 業務提携の内容

業務提携の内容は以下の通りであります。

ドコモ社：当社及びマガシーク社が、「d fashion」のサイト開発及び運営、物流機能の提供、マーケティング等を提供

伊藤忠商事：マガシーク社が、伊藤忠商事が関与しているブランド群に対して EC ソリューション（B2B）（弊社 BOEM にあたる、ブランド各社様の自社 EC の構築運営サポートを行う事業）を提供

## 3. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	マガシーク株式会社			
(2) 所 在 地	東京都千代田区三番町 3-8 泉館三番町ビル 3 階			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 井上 直也			
(4) 事 業 内 容	インターネットでの婦人・紳士服の販売			
(5) 資 本 金	1,156,618,032 円（2023 年 3 月 31 日現在）			
(6) 設 立 年 月 日	2003 年 4 月 1 日			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社 NTT ドコモ 75%（A 種種類株式：3 株）、伊藤忠商事株式会社 25%（A 種種類株式：1 株）			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	記載すべき事項はありません		
	人 的 関 係	記載すべき事項はありません		
	取 引 関 係	子会社 RBKJ 株式会社が商品を委託販売しております		
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2021 年 3 月期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期
純 資 産		3,338 百万円	3,453 百万円	3,453 百万円
総 資 産		7,073 百万円	7,097 百万円	7,222 百万円
1 株 当 たり 純 資 産		834 百万円	863 百万円	863 百万円
売 上 高		23,919 百万円	7,861 百万円	7,688 百万円
営 業 利 益		332 百万円	249 百万円	53 百万円
経 常 利 益		341 百万円	251 百万円	18 百万円
当 期 純 利 益		280 百万円	170 百万円	0 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		70 百万円	42 百万円	0 百万円

※本株式取得に際し、100 株への株式分割を行う予定ですが、記載の 1 株当たりの数値は分割前の株式数で算出しています

## 4. 株式取得及び業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社 NTT ドコモ		
(2) 所 在 地	東京都千代田区永田町 2 丁目 11 番 1 号 山王パークタワー		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 井伊 基之		
(4) 事 業 内 容	通信事業、スマートライフ事業、その他の事業		
(5) 資 本 金	949,679 百万円（2023 年 3 月 31 日現在）		
(6) 設 立 年 月 日	1991 年 8 月 14 日		
(7) 大株主及び持株比率	日本電信電話株式会社 100%		
(8) 上 場 会 社 と	資 本 関 係	記載すべき事項はありません	

当該会社の関係	人的関係	記載すべき事項はありません		
	取引関係	記載すべき事項はありません		
	関連当事者への該当状況	記載すべき事項はありません		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
	純資産	5,368,597百万円	6,509,417百万円	6,294,359百万円
	総資産	7,603,182百万円	9,318,193百万円	9,367,638百万円
	売上高	3,377,636百万円	3,221,407百万円	3,223,762百万円
	営業利益	805,545百万円	772,316百万円	787,712百万円
	経常利益	872,981百万円	867,344百万円	986,670百万円
	当期純利益	636,214百万円	633,624百万円	777,306百万円

(1) 名称	伊藤忠商事株式会社			
(2) 所在地	東京都港区北青山2丁目5番1号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長COO 石井 敬太			
(4) 事業内容	繊維、機械、金属、エネルギー、化学品、食料、住生活、情報、金融			
(5) 資本金	253,448百万円(2023年3月31日)			
(6) 設立年月日	1949年12月1日			
(7) 大株主及び持株比率 (2023年3月31日)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 16.25% EUROCLEAR BANK S. A. /N. V. 7.52% 株式会社日本カストディ銀行 5.88%			
(8) 上場会社と 当該会社の関係	資本関係	記載すべき事項はありません		
	人的関係	子会社RBKJ株式会社の取締役(1名)社外取締役(1名)として受入れています		
	取引関係	子会社RBKJに34%出資いただいております		
	関連当事者への 該当状況	記載すべき事項はありません		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
	株主資本合計	3,316,281百万円	4,199,325百万円	4,819,511百万円
	資産合計	11,178,432百万円	12,153,658百万円	13,111,652百万円
	1株当たり株主資本	2,232.84円	2,857.50円	3,311.78円
	収益	10,362,628百万円	12,293,348百万円	13,945,633百万円
	売上総利益	1,780,747百万円	1,937,165百万円	2,129,903百万円
	株主に帰属する 当期純利益	401,433百万円	820,269百万円	800,519百万円
	基本的1株当たり株主に帰属する 当期純利益	269.83円	552.86円	546.10円
	1株当たり配当額	88.00円	110.00円	140.00円

#### 5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株(議決権の割合:0.0%)
(2) 取得株式数	78株(議決権の割合:78.0%)
(3) 取得価額	マガシーク株式会社のA種種類株式 3,326百万円 ※現時点における発行済み株式はA種種類株式4株のみです ※ドコモ社からA種種類株式3株を(分割後75株)、伊藤忠商事から株式分割後A種種類株式の3株を取得する予定です
(4) 異動後の所有株式数	78株(議決権所有割合:78.0%)

※今回の株式取得に際し、100株への株式分割を行う予定であり、記載の株式数は分割後の株式数(予定)です

※今回の株式取得でアドバイザー費用は発生していません

6. 日 程

(1) 取締役会決議日	2024年2月29日
(2) 契約締結日	ドコモ社：2024年2月29日（予定） 伊藤忠商事：2024年3月4日（予定）
(3) 株式譲渡実行日	ドコモ社：2024年3月1日（予定） 伊藤忠商事：2024年3月6日（予定）

7. 今後の見通し

本株式の取得に伴い、マガシーク社は当社グループ 2025 年 2 月期第一四半期より連結子会社となる予定のため、当社グループの 2024 年 2 月期の連結業績に与える影響はないと考えておりますが、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。なお、本株式の取得に伴う 2025 年 2 月期の業績への影響、のれん及びその他の無形固定資産等の計上額は現在精査中であり、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (2023 年 4 月 14 日公表分) 及び前期実績

	取扱高 (相殺前)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
当期連結業績予想 (2024 年 2 月期)	百万円 30,000 ～ 32,500	百万円 14,000	百万円 1,750	百万円 1,750	百万円 1,400
前期連結実績 (2023 年 2 月期)	23,629	10,464	991	963	1,258